

オハイオ州フィンドレー大学奨学生レポート

「HALLOWEEN」

こんにちは。こちらはとっても寒くなり、10月の後半には雪が降りました。まさか10月に雪が降るなんて予想外。あわててジャケットを買いました。そんな私の一方、半そでやサンダルで外を歩くアメリカ人がちらほら。先生には、「そんなに厚着してどうしたの。」「まだ秋。冬はまだだよ。」と言われる始末。冬を経験している私はまだ良いものの、サウジアラビア出身のクラスメイトはとっても辛そうです。毎朝、寒いねー。ベッドから出るのがつらいねー。と話しています。

10月・・・アメリカの10月といったら何を連想しますか。私はHalloweenです。9月の



私とカボチャ

中ごろからスーパーマーケットにてHalloween商品が売り出しはじめ、10月に入るとパンプキンや藁わらでかわいくデコレーションされた家、まるで小さなお化け屋敷のようにデコレーションされた家が登場。フィンドレーがHalloween一色になりました。私はカボチャをくり抜くpumpkin curvingに挑戦することができました。これは大学の国際課が開催し、留学生40人程度が参加しました。

フィンドレーでは、Halloweenパレードというイベントが開催されます。パレードをする人と観客の人数が合計1000人ほど集まる大規模なものです。参加費はかかりますが、誰でもそのパレードに参加することができということで、私たち日本人と留学生の友人たちと参加することになりました(本当は、アメリカ人の学生にも参加してもらいたかったのですが、授業の都合で参加できませんでした)。テーマは「日本」。日本と大学の旗を持ち、浴衣を着て参加しました。

このイベントとは別に、trick or treatingもあります。決められた日の夜、子供たちが仮装し町へ繰り出します。私も仮装して、楽しみました(後からアメリカ人の友人に聞いたところ、trick or treatingをするのは大体14歳までらしいです)。

私は、今回のHalloweenを楽しみました。そして大切なことにも気づくことができました。それはHalloweenがただのイベントでないということです。アメリカの歴史や宗教によって生まれたものであり、彼らにとって意味がある大切な行事であると。ただこれは人によって内容が異なるので(先生同士でも異なっていました)、ここに記載することは控えたと思います。そして、そのことをアメリカ人でさえも(特に若い世代)、知らないという事実を知りました。11月にはthanks givingという大きな行事があります。行事の背景を理解した上で楽しみたいと思います。



Halloweenパレードの様子